

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	健診による疾病予防事業			事業番号	01-104
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部健康づくり担当	高橋 健一	健康づくり課	宮川 章則	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	1	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	
		施策展開の方向	1	生涯にわたって健康に暮らせるまちをつくる	
		施策	1	心と体の健康づくりの推進	
予算事業名	健診・保健指導事業費／39歳以下健康診査事業費 疾病予防事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	
関連法令等	高齢者の医療の確保に関する法律				
国・県の計画等	健康日本21 かながわ健康プラン21		計画期間	平成25年～令和4年度改定 予定(1年延長予定)	
関連個別計画	健康いせはら21(第3期)計画、第3次伊勢原市食育推進計画		計画期間	平成30年～令和4年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	本市の平成27年度特定健康診査受診率は36.8%、一般健康診査は40%で約6割の方が健康診査未受診となっています。また、平成27年度神奈川県国民健康保険における主な生活習慣病の医療費占有率において、糖尿病の占有率が5.94%と高い現状があります。				
目的 (何をどうしたいのか)	特定健康診査の対象とならない39歳以下の市民を対象に健康診査や健康相談を実施し、若い世代に対して健康意識の高揚を図ります。また、東海大学医学部と連携した健康バスによる測定会や、健康診査未受診者へアプローチとして講演会を実施することで、健診受診や疾病予防に対する意識・動機を促進し、疾病の早期発見、早期治療に繋げるなど、健康寿命の延伸と健康格差の縮小に向けた取組を推進します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	39歳以下の市民 市民				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診の受診を促すため、東海大学医学部と連携した健康バスによる測定会を開催します。</li> <li>・若い世代の健康意識の醸成を図るため、39歳以下健診の実施を推進します。</li> <li>・疾病等に対する知識の普及啓発を図るため、医療機関等と連携した市民公開講座を開講します。</li> <li>・令和2年度に対象者を拡大した肝炎ウイルス検査について、受診促進に向けた周知啓発を行います。</li> </ul>				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	健康バス測定会の実施	継続実施	継続実施		
	39歳以下健康診査の実施	継続実施	継続実施		
	市民公開講座の開講	継続実施	継続実施		
肝炎ウイルス検診の実施	継続実施	継続実施			
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	健康バス測定会の参加者数	250人 (令和2年度)	400人	800人	



事業実施 (Do)

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	あらゆる媒体により、健診・検診の必要性や実施するメリットなどを周知し、市民一人ひとりに重要性を認識してもらえるような取り組みを進めていきます。		
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施		<input checked="" type="radio"/> 左記以外
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b> 宗教法入寒川神社寒川病院 秦野伊勢原医師会
	<input type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>
	<input checked="" type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b> 集団健康診査 いきいき健康診査 健康バス測定会
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>	
		<b>令和3年度</b>	<b>令和4年度</b>
	健康バス測定会の実施	継続実施	
	39歳以下健康診査の実施	167人に実施	
	市民公開講座の開講	中止	
肝炎ウイルス検診の実施	継続実施		
<b>実施した取組の内容</b>	39歳以下健康診査の実施、健康バス測定会を実施しました。 肝炎ウイルス検診の対象者を昨年度から40歳以上の5歳刻みの市民とし、継続実施しました。		
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状値】</b>	<b>年度</b>
			<b>令和3年度</b>
	健康バス測定会の参加者数	250人 (令和2年度)	232人

<b>コスト</b>	<b>年度</b>	<b>令和3年度 実績</b>				<b>令和4年度 実績</b>				
	<b>内訳</b>	<b>事業費合計 (a)</b>	2,529	千円				千円		
		<b>国県支出金 ①</b>	1,641	千円				千円		
		<b>地方債 ②</b>	0	千円				千円		
		<b>その他特財 ③</b>	0	千円				千円		
		<b>一般財源 (a)-①-②-③</b>	888	千円				0 千円		
	<b>国県支出金の内容</b>	未病月間推進事業補助金・市町村健康事業補助金 補助率: 国1/3、県1/3、市1/3								
	<b>その他特財の内容</b>	<b>受益者負担</b>	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		<b>前回の改定時期</b>					
		<b>その他</b>								
	<b>人件費</b>	<b>正規職員</b>	1	人	8,180	千円		人		千円
		<b>その他の職員</b>	0	人	0	千円		人		千円
		<b>人件費合計 (b)</b>	1	人	8,180	千円		人		千円
	<b>トータルコスト (a)+(b)</b>				10,709	千円				0 千円
	<b>単位当たりコスト</b>	<b>対象数</b>	<b>定義</b>	16～39歳以下の人口		単位			単位	
			<b>対象数</b>	26,650	人					
<b>総事業費 / 対象数</b>		402	円						円	

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて引き続き事業を実施しました。健康バスは実施回数も少ないことから人数の伸びはみられていません。39歳以下健康診査については、年度途中から電子申請による申し込みを追加したこともあり、参加者が増えました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	39歳以下健康診査・健康バス測定会については、細かな実施方法の違いがあるため他市との比較は難しいと考えられますが、状況に応じ工夫しながら実施しています。肝炎ウイルス検診は、他市と同水準で実施しています。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	引き続きコロナ対策をしながら進めていく必要性はありましたが、健康に関心を持っていただくためのアプローチを進めていきます。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	39歳以下健康診査では、集団健診であることから、健診以外に保健師・栄養士等の専門職による健康相談や、子育て中の人のための保育サービスを導入していました。前年度はコロナの感染予防のため保育サービスも中止していましたが、令和3年度から再開しました。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	各種健(検)診の受診率向上は今後も引き続き課題としてコロナ禍ではありませんが、その実施方法などを工夫しながら取り組んでいく必要があります。
令和4年度の取組方針		あらゆる場面を活用して健(検)診の必要性を市民一人ひとりが認識できるような取り組みを今後も進めていきます。		
所管部長による総評		本市は、東海大学医学部付属病院や伊勢原協同病院が立地し、医療環境に恵まれており、今後も病院や医療機関と連携しながら健(検)診事業を啓発し、展開していくことが重要です。引き続き感染対策をしながら、必要な受診行動をとることができるような取り組みが必要です。		